

令和 5 年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立西淀川スポーツセンター
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	スポーツセンターは、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	株式会社ティップネス
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
評価対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		94%
達成率		117%

利用状況（第1体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	99.8%	99.6%	0.2%

利用状況（第2体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

利用状況（多目的1）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

利用状況（多目的2・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

利用状況（多目的3・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	10,129,530	18,439,262	680,750	精算金/空調工事関連・休館補填
	計画	9,448,780	8,430,000		
利用料金収入	実績	2,733,280	1,859,600	63,280	
	計画	2,670,000	2,670,000		
その他収入 （自主事業収入）	実績	16,788,324	10,256,952	8,848,324	教室事業拡張に伴う増収
	計画	7,940,000	7,890,000		
合計	実績	29,651,134	30,555,814	9,592,354	
	計画	20,058,780	18,990,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	11,558,559	9,703,359	4,078,559	最低時給変更と人員配置適正化
	計画	7,480,000	7,480,000		
物件費	実績	9,010,336	13,585,542	2,920,336	光熱費高騰
	計画	6,090,000	6,090,000		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	12,050,933	10,387,108	6,630,933	教室拡張に伴う経費増
	計画	5,420,000	5,420,000		
合計	実績	32,619,828	33,676,009	13,629,828	
	計画	18,990,000	18,990,000		

令和 5 年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1 次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	117.1%	A	

（2）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・消耗品や備品購入の際は、相見積で経費削減 ・水光熱の使用量コントロール	B	

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

・従業員からご利用者の方々への積極的なお声がけを行い、従業員間で共有して運営に反映する。 ・社内作成の利用者満足度調査アンケートを実施しご要望などを運営に反映した。 ・建物は古いが中はきれいに維持されているとお褒めのお言葉を頂戴いただく。 空調工事のため休館した 4 カ月間にスタッフ全員で清掃を徹底。 ・スタッフとの距離が近く、色々と聞いたりしやすいとお褒めのお言葉を頂戴いただく。 地域性の高い施設のためスタッフの接客力を強化するよう日頃から徹底。 ・教室事業案内プリントをフリーチョイスできるよう館内へ設置した。 ・教室事業のアンケートを実施し、結果を従業員間で共有し、今後の教室事業への参考にする。 ・夏季、暑さ指数を毎時掲示して熱中症対策の一助とする。 ・事前可能枠を掲示して、申し込み受付待ちの時間を短縮させる。 ・トイレを改装して欲しいとのご要望あり。 ・バリアフリーにして欲しいとのご要望あり。
--

6 外部専門家意見

工事休館明けの年度であったが、収入が計画比で約150％と大幅に達成できている。特に自主事業収入は計画比200％超であり、休館前後の教室離脱防止に加え、小学生低学年の新規教室利用者増に繋がった点は、管理者の運営努力であり大いに評価できる。高い利用者満足度も、スタッフ育成を含め、地域に根差した施設運営を目指した取り組みの成果であろう。 赤字収支ではあるが、収入の合計額と比較すると小さなものなので、施設の効率的な運用と業務の効率化といった工夫で収益を改善してほしい。 教室事業が好調であり、それに伴う事業支出が増大している。さらなる教室事業の魅力向上を図り、人件費等の支出とのバランスが取れた健全な事業運営に向けて努力されたい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	A	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

令和5年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立阿倍野スポーツセンター
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	スポーツセンターは、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	株式会社ティップネス
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
評価対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		92%
達成率		115%

利用状況（第1体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	98.9%	96.9%	2.0%

利用状況（第2体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	97.6%	97.1%	0.5%

利用状況（多目的1）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	84.6%	85.1%	-0.6%

利用状況（多目的2）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	83.4%	86.8%	-3.5%

利用状況（多目的3）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	89.8%	91.9%	-2.2%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	15,269,123	10,704,000	4,017,123	
	計画	11,252,000	10,704,000		
利用料金収入	実績	11,233,030	13,866,370	-2,910,060	
	計画	14,143,090	14,143,090		
その他収入 （自主事業収入）	実績	26,607,771	27,675,684	13,423,465	教室事業好調
	計画	13,184,306	13,084,306		
合計	実績	53,109,924	52,246,054	14,530,528	
	計画	38,579,396	37,931,396		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	16,332,389	13,799,596	6,311,429	最低時給変更と人員配置適正化
	計画	10,020,960	9,960,960		
物件費	実績	15,830,482	16,960,348	-3,774,955	清掃業務内製化
	計画	19,605,437	19,120,437		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	19,463,746	21,697,250	10,510,746	教室好調に伴う経費増
	計画	8,953,000	8,850,000		
合計	実績	51,626,617	52,457,194	13,047,220	
	計画	38,579,397	37,931,397		

令和 5 年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1 次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	115.0%	A	

（2）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・消耗品や備品購入の際は、相見積で経費削減 ・水光熱の使用量コントロール	B	

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

・従業員からご利用者の方々への積極的なお声がけを行い、従業員間で共有して運営に反映する。 ・社内作成の利用者満足度調査アンケートを実施しご要望などを運営に反映した。 ・施設ホームページについてご指摘・ご意見があるものは即時修正・更新を実施し閲覧時満足いただけるよう努めた。 ・外国人利用者さまに向けて英語・中国語の館内案内・注意事項を掲示後、混乱なくスムーズな運営を実施。 ・教室事業のアンケートを実施し、結果を従業員間で共有し今後の教室事業への参考とする。 ・実施教室別の案内をインフォメーションボードへわかりやすい表現へ加工し掲示した。 ・月 1 回開催中の解放DAY受付についてのご要望あり。 電話受付のルールを当日受付から事前受付に変更する事で、利用当日の混雑及びトラブル等を改善いたしました。 ・終了時間入れ替わり時、団体さまの片付けが遅くなり次の利用団体さまからのご指摘あり。 従業員から率先してコート交代時にお声かけを実施することで改善いたしました。

6 外部専門家意見

第1・第2体育場の稼働率は前年から微増しているものの、各多目的室においては低下している。一部施設の工事休館による機会損失も影響すると思われるが、全体での利用料収入は減少しており、施設全体の稼働率向上は今後の課題である。 教室事業収入においては、計画比200%と継続し好調ではあるものの、昨年比で減少がみられる。支出における事業経費の構成比率が高い分、より一層の収入増加が期待される。アンケート実施等、利用者満足度の向上への努力は認められるが、今年度の新規教室開設がないこともあり、新たな利用者層の獲得など潜在的ニーズの獲得に向けた取り組みも検討されたい。 支出において昨年比での削減はみられるが、休館に伴う光熱費減の影響もあり、今後より一層の経費の適正化が求められるものである。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	A	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

令和5年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立住吉スポーツセンター
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	スポーツセンターは、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	株式会社ティップネス
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
評価対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		85.1%
達成率		106%

利用状況（第1体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	98.6%	98.7%	-0.1%

利用状況（第2体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	92.8%	96.7%	-3.9%

利用状況（多目的）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	88.9%	74.0%	14.9%

利用状況（会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	14.9%	33.9%	-19.0%

利用状況（多目的3・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	62,714,575	54,345,000	12,396,575	精算金/体育場天井工事
	計画	50,318,000	50,027,000		
利用料金収入	実績	3,426,930	15,611,710	-7,180,830	天井工事休場
	計画	10,607,760	10,627,760		
その他収入 （自主事業収入）	実績	29,394,887	28,544,720	10,172,280	工事車両駐車料金収入
	計画	19,222,607	19,213,607		
合計	実績	95,536,392	98,501,430	15,388,025	
	計画	80,148,367	79,868,367		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	20,579,426	22,232,067	-4,768,211	従業員指導教室分人件費を事業経費に付替え
	計画	25,347,637	25,347,637		
物件費	実績	68,629,290	67,704,216	21,719,265	光熱費高騰 保守点検費等屋内プールと付替え
	計画	46,910,025	46,630,025		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	6,982,278	17,020,439	-358,427	従業員指導教室分事業経費を人件費より付替え
	計画	7,340,705	7,340,705		
合計	実績	96,190,994	106,956,722	16,592,627	
	計画	79,598,367	79,318,367		

令和 5 年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（１次評価）

（１）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	106.4%	B	

（２）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
水光熱費 ・状況を見ながら不要エリア都度消灯 ・自動ドア、窓の開放 ・強制シャワーの水量調整 ・各シャワーブースの水量調節（水量ベース24.7%減） ・翌日の天候（気温）を確認し空調のON/OFF時間帯指示 ・来館状況に応じた空調電源OFFの実施 ・体育館定期清掃時、カーテン開閉実施 ・施設管理担当との定期打合せにてムラ・ムダの検証実施 ・電力会社との連携強化 節電対策の模索と最適な対策の導入。 ・節電に対する従業員意識醸成活動の実施（視える化） ・全エリア節水バルブ設置 適切な水量を維持しているか定期点検を実施する。 消耗品費 ・消耗品 最安値商品の購入（社内一括発注システム採用にて） ・再生紙利用 修繕費 ・DIYでの備品修繕 男女ロッカー内錆びに対しビニールシート上張りにて不具合解消。 ・相見積もり実施最安値で業者決定 人件費 ・シフトの重複時間削減 ・研修効率化（社内共通研修ツール 映像等採用）にて時短をはかる。	B	

（３）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

・従業員からご利用者の方々への積極的なお声がけを行い、従業員間で共有して運営に反映する。 ・社内作成の利用者満足度調査アンケートを実施しご要望などを運営に反映した。 ・体育場休館中はエントランスに椅子とテーブルを設置しご利用者様同士の交流の場を設けてご好評いただいた。 ・長居プール工事休館による利用者増に伴う各種トラブルを事前回避するため、安全快適にご利用いただけるように館内の各種利用案内、掲示物の更新及びご利用者ヘルールマナーの啓蒙を徹底。 ・教室事業担当者と講師との意見交換を随時行い、参加者の満足度向上に役立てる。 ・当社が受託している他施設でのご意見事例を共有し、当施設での発生に繋がらぬように留意する。 ・各所ロッカー内へハンガーを設置した。 ・新型コロナウイルス感染症5類感染症移行後も感染防止策の一環として、入口で検温、手指消毒の徹底。 ・感染拡大防止策として施設内各所洗面台へ消毒液とペーパー、ゴミ箱を設置した。 ・館内掲示インフォメーションボードを各所に新設しご利用者が視認しやすいよう整理して掲示物を掲示する運用へ変更。（施設修繕計画や、人事異動ごあいさつなどこれまでなかった情報なども発信） ・いつも館内の通路をウオーキングされているご利用者様より体育場工事休館期間中通路を開放して欲しいとの要望あり。 資材の搬入等がありご利用者様の安全を考慮し通路を塞いでいるため開放はできない旨をお伝えしご理解いただきました。 ・夏場マシンジムエリアの室温が下がらず暑いとのご指摘あり。 空調機故障が原因であるが今期中に更新する旨をお伝えし、即日扇風機の増設と新たに冷風機を設置し室温を下げるよう努めご理解いただきました。 ・体育場休館中の工事工程で火災報知器の点検時に火災警報が誤発報。営業中であったためご利用者様にご迷惑をおかけした。 即日、協力会社様に調査依頼し各種点検を行いました但し機器に不備なし。原因は不明。火災報知器の点検は休館日に実施していただくようによりに変更しその後は問題なし。

令和 5 年度 指定管理者年度評価シート

6 外部専門家意見

工事休館に伴い利用料収入は減少しているが、自主事業収入はなお高い水準で維持している。工事の影響下、工事に伴う駐車場収入を考慮しても、自主事業収入が前年度、さらには計画を大幅に上回っていることは、民間事業者の優位性の表れである。赤字収支ではあるが、収入の合計額と比較すると小さなものなので、施設の効率的な運用と業務の効率化といった工夫で収益を改善してほしい。

7 最終評価

評価項目		評価	所見
成果指標の達成		B	
市費の縮減		B	
管理運営の履行状況		B	
	施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
	施設の管理運営		
	事業計画の実施状況		
	施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性			
総合評価		B	

令和5年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立住吉屋内プール
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	水泳等の場を提供することにより、市民の健康を増進するとともに、水泳等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	株式会社ティップネス
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
評価対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

2 管理運営の成果・実績（屋内プール）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		97.5%
達成率		121.9%

2 管理運営の成果・実績（トレーニング室）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		89.7%
達成率		112.1%

2 管理運営の成果・実績（アイスクースト）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		0.0%
達成率		0.0%

利用状況（屋内プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	104,125	85,447	18,678
稼働率			

利用状況（屋外プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			0
稼働率			

利用状況（トレーニング室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	39,104	35,456	3,648
稼働率			

利用状況（アイスクースト）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	0	0	0
稼働率			

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主要要因
業務代行料	実績	84,687,448	74,507,509	11,163,448	精算金/空調工事・QRコード決済
	計画	73,524,000	73,582,000		
利用料金収入	実績	32,673,255	32,735,832	-2,450,565	
	計画	35,123,820	35,123,820		
その他収入 （自主事業収入）	実績	33,840,079	37,689,366	-28,491,921	
	計画	62,332,000	62,420,000		
合計	実績	151,200,782	144,932,707	-19,779,038	
	計画	170,979,820	171,125,820		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主要要因
人件費	実績	41,586,959	44,628,264	-14,739,822	従業員指導教室分人件費を事業経費に付替え
	計画	56,326,781	56,326,781		
物件費	実績	94,232,883	97,770,601	-7,095,945	
	計画	101,328,828	101,456,828		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	17,912,694	26,995,968	4,570,483	従業員指導教室分事業経費を人件費より付替え
	計画	13,342,211	13,342,211		
合計	実績	153,732,536	169,394,833	-17,265,284	
	計画	170,997,820	171,125,820		

令和5年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度（プール）	121.9%	S	
利用者満足度（トレーニング室）	112.1%	A	

（2）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
水光熱費 ・状況を見ながら不要エリア都度消灯 ・自動ドア、窓の開放 ・強制シャワーの水量調整 ・各シャワーブースの水量調節（水量ベース24.7％減） ・翌日の天候（気温）を確認し空調のON/OFF時間帯指示 ・来館状況に応じた空調電源OFFの実施 ・体育館定期清掃時、カーテン開閉実施 ・施設管理担当との定期打合せにてムラ・ムダの検証実施 ・電力会社との連携強化 節電対策の模索と最適な対策の導入。 ・節電に対する従業員意識醸成活動の実施（見える化） ・全エリア節水バルブ設置 適切な水量を維持しているか定期点検を実施する。 消耗品費 ・消耗品 最安値商品の購入（社内一括発注システム採用にて） ・再生紙利用 修繕費 ・DIYでの備品修繕 男女ロッカー内錆びに対しビニールシート上張りにて不具合解消。 ・相見積もり実施最安値で業者決定 人件費 ・シフトの重複時間削減 ・研修効率化（社内共通研修ツール 映像等採用）にて時短をはかる。	B	

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

・従業員からご利用者の方々への積極的なお声がけを行い、従業員間で共有して運営に反映する。 ・社内作成の利用者満足度調査アンケートを実施しご要望などを運営に反映した。 ・体育場休館中はエントランスに椅子とテーブルを設置しご利用者様同士の交流の場を設けてご好評いただいた。 ・長居プール工事休館による利用者増に伴う各種トラブルを事前回避するため、安全快適にご利用いただけるよう 館内の各種利用案内、掲示物の更新及びご利用者ヘルールマナーの啓蒙を徹底。 ・教室事業担当者と講師との意見交換を随時行い、参加者の満足度向上に役立てる。 ・当社が受託している他施設でのご意見事例を共有し、当施設での発生に繋がらぬように留意する。 ・各所ロッカー内へハンガーを設置した。 ・新型コロナウィルス感染症5類感染症移行後も感染防止策の一環として、入口で検温、手指消毒の徹底。 ・感染拡大防止策として施設内各所洗面台へ消毒液とペーパー、ゴミ箱を設置した。 ・館内掲示インフォメーションボードを各所に新設しご利用者が視認しやすいよう整理して掲示物を掲示する運用へ変更。（施設修繕計画や、人事異動ごあいさつなどこれまでなかった情報なども発信） ・体育場休館中の工事工程で体育場床ニス塗りの際に臭いがプールエリアに充満しご指摘あり。 窓を開けて対応したがご利用者様にご迷惑をおかけした。
--

6 外部専門家意見

利用者数は前年度を上回っているものの、利用料収入については計画に対し未達であり、昨年度より減収している。高い利用者満足度を得ている一方で、自主事業収入が大幅に計画・前年実績を下回っている。子どものスイミング教室登録数が不調であったとはいえ、昨年度から継続して低下が認められており、早急な事業改善が求められる。 加えて、昨年から改善がややみられるものの、自主事業の収支構造が非効率である。人件費の付け替えとはいえ、精緻な計画の立案と経営上の工夫・改善を図り、収支差額が計画を下回るような民間事業者らしからぬ事業実績であることを重く受け止めてもらいたい。 特に自主事業に関して、施設の特異性を踏まえても適正な運営状況とは言い難い状態である。 赤字収支ではあるが、収入の合計額と比較すると小さなものなので、施設の効率的な運用と業務の効率化といった工夫で収益を改善してほしい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	A	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	